

そのことで米軍とのあるいはその防衛庁との対応があったのかどうなのかということを知りたい。これがゲーム・スピットおびす。

さつき言いましたけれども、フリー・テックスおという名前を言いました、これも余りなじみがないということだったんですが、これはものすごく市民の生活に影響があると思うんだけど、いつもならば沖縄の嘉手納の基地にいるはずのKC130という飛行機の上からはかの飛行機に油を移すような飛行機が実は六機、七機と横田に来て全部が来てしまった時期があったんです。それからE3Aという飛行機を見学に行かれた方もいるというふうに伺っていますけれども、さつきの頭の上に大きなおを載せたジェット機です。プロペラ機の方は見てわかるように艦載機ですけれども、それが実に全機、四機横田の基地に全部張りついていた時期があります。大変心配をしまして横田基地が嘉手納基地に変わってしまったのではないかと思っただんです。これは明らかな基地の態様の变化ですから、これは一体どうなるのかと考えましたし、同時に、騒音指数からいえば最も大きい騒音指数100ホーンを超えるような騒音をまき散らすKC130が、それからKC10という大型機。一番最新の空中空輸機が横田基地にすっというたことがある。四月

の一日から十九日までいるのですけれども、その間そのタツチアンドゴーをやったり、あるいは市内の上空を旋回飛行するという形で非常な騒音だったんですが、これらの基地の態様の变化については、市長はどのような形で防衛庁や防衛施設庁と交渉なされたのかということを知りたい。明らかな態様の变化なんです。それがフリー・テックスおという形なんですけれども、さらには、その間にもミッドウェーの艦載機E2Bが次々に横田基地に飛来を続けています。これに付きましても、たとえばE2Bというのは二月の二日、十五日、十六日、二十一日、二十五日、二十六日という形で訓練をしているんですけれども、その間市内を飛び回わりまして、一月の五日から七日までやった訓練と同じように熊川や、あるいは福生の上空をかなり低く飛んでいるんですけれども、これらの訓練については、私の理解ではその訓練飛行があるかもしれないけれども、市内の市街地の上は飛ばないんだというふうに約束したというふうに聞いているんです。合同委員会などの約束だというふうに市長さんからの答弁を伺っていますけれども、一体E2Bに関してはその例外事項なのかどうなのかということと市長さんに伺ってみたいと思いますし、防衛庁等にはほかの他市長さんと一緒に抗議に行った、あるいは申し出たというふうに伺っていますけれども、具体的に中身の問題として訓練の時

間や、訓練の場所等々についてはどのような形で防衛庁と交渉なさったのかということとを伺ってみたいと思います。とにかくにもその間ですね、四月の五日に一日に百七十回という大変大きい量の騒音が市内上空はらまかれていますし、一日に百回を超えらる日というのは実に八十日間のうち十日間あるんです。ですからその間は少なくとも市民の生活に非常に影響音を及ぼすような形で騒音があるというわけ、いままでフリー・テックスとそれからチーム・スピリット並びにそのミッドウエーの艦載機の市内上空の飛行についての市長さんの見解と、それから離着陸について伺っていますか。

それからもう一つの質問は、保育行政の問題で、ことに布団乾燥についての通告の仕方をしました。布団乾燥について通告をしましたので意外と思われる方も多いと思いますが、布団の乾燥に象徴されるようなそれ各保月園の処置の仕方の差について伺ってみたいと言った方が正解だというふうに思います。おふさんをお持ちの方もしらると思いますけれども、それぞれ保育園では昼寝の時間がありまして、その時間にも布団で昼寝をするわけですから、それと、そのとき、たとえば都立の保育園ですと布団を貸し出して、布団の乾燥ま

で都立の保育園で行っているんですか、それとそれ市立の保育園、あるいは私立の保育園によつてはさまざまに差があるんです。保育行政というのは御承知のとおり指置委員で行つていくものですから、保月の中身に差があつてはいけません。格差があつてはいけないというのが私の基本的な考え方ですけれども、その中で特に布団の問題についてはいろいろな形の声が上がつてきているんです。布団というのは、私立の保育園、市立の保育園の場合も持ち込みまして、それで乾燥することがあるんですけれども、その乾燥代という形でお金を取ったり父母負担にしているところがあるんです。していいところもあるんです。

それから、さまざまに名目で布団の乾燥からさらには、保護者会、あるいはその他の積み立てという形でもって保護者にそれぞれ金銭的な負担があるような保育園が幾つもあるということかたんだんわかつてきているわけです。それぞれ私立の保育園というのは当然のように経営とか、あるいは教育の方針がありますから、差があるとは思いますが、負担の問題での格差があるといふことはやはり行政上まづいのではないかと思つておりました、これらのことについて実態をいませむ明らかにしていただきたいと思つております。そのことは何かにつながります。

かと言いますと、前回までの議会でも決議をしましたが、都立保育園の市移管をせよやめてください。でも、もちろんその負担にも絶えられませんし、元来都立の保育園は都でやるべきでしょうという強い意見があるわけです。その中でですね、お母さんたちが主に問題にしたのが保育園の中の保育の格差の問題なんです。都立保育園はいろんなことですが、かんばっているけれども、市立や私立のようにはなっていないというふうなこともありまして、都立保育園をほかに移管をしないどころか、都立としてかんばってほしいんだという意見があつたんです。そこに非常に関連してくるようなこととして非常に端的な例で布団のことが出てきた。ぜひこの都立保育園の移管の問題について市長さんに伺っておきたいんですけれども、この間知事さんがかわらなかつたんです。知事さんの選挙がありません。都の中の幾つかの部局が変わっているわけです。多くの理解する限りでは都立保育園の担当していた福祉の主任者の方も都立大学の事務局長という形で栄転なさっているんですけれども、この何ヶ月間かの間に都立保育園の移管の問題について都の対応に変化はあつたのかどうかということとをぜひ伺っていただきたいし、新しい議会が始まつたいま市長さんからもう一言都立保育

園の市移管ということとは反対なんだというのを伺っておきたいというふうに思います。第三番目の交通対策、安全対策の問題なんですけれども、これは主に福祉駅東口の問題です。御承知のとおり福祉駅東口のパチンコ屋さんの所は工事が始まりまして、いまや工事としては終局に向かっていると思ひますけれども、その中で二つの問題が発生していると思うんです。

一つの問題はあそこに外食産業がたくさんできまして、そのことによりて駅前駐車の問題、車の問題が出てきました。あの辺を御覧の方は御承知だと思いますけれども、バスの停留所から始まりまして、歩道の白線の上までですね、たくさんのお家用車が群がって止まっているわけです。はなはだしいときはですね、バスが通過ができないうらいたくさん止まっている。これをじっくり見ますと、実は写真も撮ったんですけれどもほとんどがYナンバーです。それはアメリカの兵隊にそのことが周知徹底していない可能性があるとは思ひます。どこへ止めてもいいんだと、お前らはって言われている可能性があるとは思ひます。実際に行政の問題としてみれば、あそこへせっかく巨額な金をかけて整備をしている東口です。実際にはそのバス運行も含めまして、最も市民生活に重大なところが半ばその

欠陥になっている。その欠陥の理由は、主にそういった形で、自家用車の駐車にあるのではないかと、ふうに思いまして、その対応をぜひ市としてはどのような形で行っているかということをお伺いしていきたいと思うと同時に、東口の自家用車と同様に自転車も同じように止まっているわけですね。しかしながら、自転車につきましても見ていただくとおわかりのとおり、ちやうど公園部分、ベンチを置いたりあるいはテラスを置いたりするようにあらかじめ設計をされている部分にいま現実には自転車がたくさん入っているわけです。四百台を超している自転車が入っています。その自転車を、一体どのような形で処理をするのか、ということもあわせて伺っておきますと、東口の対策、自家用車も含めまして対策が立たないのではないかと、思いまして、そのこと二つを交通安全対策の特に駅東口の米俣自家用車並みに自転車の対策を伺っておきたいというふうに思っています。

以上が一般質問の三つです。よろしく願います。

○議長(田村市郎君)

十一時まで休憩いたします。

午前十時四十九分

休憩

午前十一時一分 再開

○議長(田村市郎君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

(市長 田村匡雄君登壇)

○市長(田村匡雄君)

遠藤議員さんの質問に対してお答えいたします。

基地対策の件でございますが、チームスピリットおの横田基地での軍用機の離着陸の件ですけれども一番、二番、三番、四番を含めまして数字的のことについては担当の部長の方から説明をいたさせていただきますのでよろしく願います。

第一点のチームスピリットおの軍用機の件でございますが、非常に騒音等が激しくなっておりますのではないかと、このようなことを含めまして、また演習に自衛隊の飛行機が飛んでいる。あるいはこういったことについて連絡があったのかということですが、自衛隊の飛行機等についての演習については連絡がございません。

それから第二点の事故の発生状態のことでございますけれども、こういったことも事故が特別あったというような連絡はございません。それから常時いろんな訓練をしているが、その都度いろんな報告がこのチームスピリットおについて、こういったことの訓練の連絡があったのかということですが、こういった件についても連絡はござい

さいませんですけれども、たまたま私も指令官とのいろんな陳情等で時期的にこういった訓練をやっているのではないかと言ったら、軍隊だから通常の訓練はしてあるというようなことでございます。

それから、フリー・テックスにおいてでございますけれども、この件については正式な通知は受けておりませんが、四月一日の日に指令官から訓練が近いうちあるということ、その機種がK-15、それからE-3Aが飛来して来るというような連絡は受けております。

それから、ミッドウエーの艦載機の上空での訓練飛行についてでございますけれども、この件についてもE-2Bが夜間訓練をするというようなことは、その都度連絡は受けております。

それから次に、それならば、どのようにその連絡とか、あるいは飛行訓練に付いてのことを防衛施設庁なり指令官に市長という立場で申し立てているのかという件でございますけれども、その都度、隣接の市町等と、防衛施設庁並びに東京局等へ訓練の中止方を申し入れてございます。また指令官にもそういう旨を話しております。

次に保育行政でございますが、布田の乾燥についてでございます。

布田乾燥については、公立・私立においては各保育所で必要に応じて乾燥に努めておりますが、私物のため、この管理については保護者の責任で最低月一回持ち帰りつくういや打ち直し、または十分な時間をかけて乾燥などをお願いしております。しかし、勤務の関係等で持ち帰り等が十分できない人のために希望者のみ業者をお願いして乾燥を実施しておりますが、原則は、あくまでも保護者に御協力をお願いしていくこととなっております。都立保育所においては布田が都の所有であるがため、毎年度三月の年度末に公費で一回乾燥を行っております。公立・私立においても公費で負担できないかとのことでございますが、問題は子供のためにどちらがよいかということでございます。太陽の下で十分時間をかけて乾燥させることが最もよいことであり、また親子の関係など家庭のあり方が層間われている現在、市にすべてをお願いすることなく、保護者もできることは積極的に協力していくことが健康な子供の成長につながるものと思われまうので、よく御理解をお願いしたいと思います。

なお、公立・私立の布田の保護者負担について東京都の指導でも問

題がないとのことであり、今後この方針でいきたいと考えております。

それから都立保青園の移管については従来とおりでございます。

次に交通安全対策でございます。

福生駅東口の駅前広場は区画整理事業により約四千平方メートルを整備することになっております。現在、このうち二千六百五十平方メートルを完了し、過日駅前の建て物移転が完了したことに伴い残りの一千三百五十平方メートルについて、今年度事業として八月には工事に着手することになっております。タクシープールにおいても、この工事の着手時期と並行してオープンしていく予定でございます。関係会社との間で、台数、発着の方法等多少の問題が残っておりますが、特に一社については地主との問題が残っております。したがって、現在駅前広場の工事はまだ途中ということで完了はしてないわけでありますが、このようなことから駅前広場の使用状況は非常に中途半端な状態でございます。このことが、交通安全の問題となり、違法駐車が多一つの要因になっております。さらに、駅前に開店したファーストフードのお客と思われる外人の駐車が非常に多く見られます。これは、五月に基

地側へ注意をし、対策方を申し出たところでございます。またファーストフード関係につきましても、文書によりましてこのビルの所有者に対し現在の保有駐車場のほかに、これらお客に対応できる駐車場の確保、案内板の設置について厳重注意をするよう通知をしたところであります。その結果ビル所有者は各社ごとに駐車場の確保し、交通安全対策について積極的に対処していく旨の文書回答が参っております。

しかし、このような状態で交通安全上問題があるにしても、町の活性化、商業の発展等を考えますと有効な面もありますので、これが対策を考えてまいりたいと考えております。いずれにしても最初に申したとおり、今後この地域は八月から駅前広場の最終工事に着手し、早ければ年内に四千平方メートルすべてが完了する予定でございます。したがって今後の交通安全対策については、敬告、基、地側と十分協議をしていき、せっかく完了するわけですから、それまでには気持ちのよい使われ方ができますよう万全を期していきたいと思っております。

なお、自転車の駐輪場の問題につきましても、駅前広場整備に伴い、あの場所に残すわけにはまいりません。別に確保するための各方面と交渉を行ってい

る最中であります。できるだけ早い時期に解決し、自転車利用者にも御
協力をいたいただきながら美しい駅前広場になるように努めてまいりたいと考えて
おります。

○市民部長(井上久男君)

それでは、横田基地対策の中のケーム・スプリントにお
ける飛来する飛行機の回数でございますが、今年の二月一日から四月十六日ま
での回数が四千六百四十回、九十ホーン以上の回数は一千百三十回で前年対比
回数において二百七回少なくなっておりますが、九十ホーン以上の回数は五十七回平
に増えております。

二点目の上半期の離着陸数について三月以降の回数でございますが、三月の飛
行回数は一千七百七十六回で、一日平均五十七・三回。最高に飛んだ日は三月の二十二
日で百二十六回。騒音の最高は二十八日の百十六ホーンです。それから四月の飛行回数に
つきましては、一千七百二十五回で一日平均五十七・五回。最高に飛んだ日が四月の五日で
百六十七回でした。騒音の最高は十三日の百二十二ホーンです。それから五月の飛行
回数については一千四百八十一回で、一日平均四十八・七回でございます。最高に飛んだ日
が五月の十七日の百三回でした。騒音の最高は二十八日の百十三ホーンで、その統計に

ついてはリサイクルセンター内に置いてある測定機のデータによるものでございます。以上
飛行の便態についてお答えします。

○十二番(遠藤洋一君)

再質問をしたいと思います。

いま、まず最初に市長の方からこのような回答があったわけですが、自衛隊
機の使用とか、事故とかについての連絡はないということ、連絡があったのはそうしま
すと唯一四月の一日からトビとそれからエー・ワックスE3Aが飛来するという連絡があつたとい
うふうに聞いています。その四月一日からというのは、実はそういった形でフリー・テックスと
いった耳慣れない言葉を言いましたけれども、よくもあんまり実は知らなかったんです
が、四月二十日付のサンケイ新聞で、非常に大きい演習がアリューシャンで行われたとい
ふ記事が載ったんです。サンケイ新聞というのはよくは余り好きじゃないんですけれども、こ
もよい記事を出していたんですけれども、防衛庁の記者も実は知らないような演習
が行われていて、こういうことかというのと、アリューシャンあたりのアスカ島とか、アツタ
とかキスカだとかいう町の名前のあたりで大きい演習をしていてそれが主にソビエトと
アメリカとの関係で演習をやっているんですが、そのときにそのあたりで演習をや
っている一番近い飛行場というのは横田なんです。それで横田の飛行場にE3Aみ

たいな飛行機を持って来て、こちらからこういうものですか、ここまで来て、ここからよいしよとアリエンヤンまで運んでその上をぐるぐる回ってリーダーで監視をして、またこゝう帰ってくるということをやるようなんです。そうしますとその嘉加子納に元来あるはずのエーワックスみたいな観測のデータを持った飛行機が横田にやって来ないし、その対ソビエトの戦略、アメリカ戦略はできないということになりますと、そのたった一ヵ月間だけでも、少なくとも基地は輸送の基地では全然なくて、戦前のそういう形でのお穀子基地になってしまったことは間違いないというふうに思っていますね。しかも記事を読んでみますと恐いことにそのフリー・テックスのお一人なんです。聞いたら2、3とある。その期間中にずっとだから横田は一ヵ月間でK105というものすごい騒音を出しているものや、K105について去年横田に飛来して市長さんに一般質問して、新聞にも出ましたけれども、大きな飛行機がやって来る形になっている。その期間が何回かあるということは、年の何分の一かは少なくとも態様が全く違ふじゃないかということをおもうんです。そういう防衛方との対応をもう一度やってほしいなというふうに思っています質問をさらに続けていきたいんですけれども、自衛隊についての連絡はないと、ないならば、こちらの方から自衛隊機についてのそれらはどうなっているんだと

いうふうに聞くことができるのかどうかということを市長にまず一点質問いたします。

それから事故の連絡はなかったというふうに、よくから言わせればしゃあしゃあとお答えになつていらっしゃるわけですから、事故が実際にあつて新聞報道がなされているわけですから、こんな車輪がこうがっている写真が全国紙に載っているわけです。そのような事故があつたというやでも市民はみんな見ているわけですね。見たときに「休市長さんは基地に対してどういったことを言ってくれたらう」というふうにだれもが思うわけです。その事故が起きたときに連絡がなかったではなくて、こちらの方からどのような形の対応をなされたのかということをお二目に伺つておきたいんです。

それはさっきそのアスロックに関しても同様でして、私も市長さんの方のアスロックについて問い合わせたと、しかし基地の方からそんな事実はないだと言つてしよう。言つたにしてもそういうコメントがもしもあつたならば、市民の前にさらけ出す必要があると思うんです。米軍当局はそんなものはないんだと言つて、新聞に運んでいる大きな記事が出たわけですよ。軍事専門家のだれもが認めて、横田に核がないということをみんな信じたいけれど、実際にはあると思うわけです。そういう市民の不安を解消するためには、少なくとも市長は問い合わせたら基地はこういう返事があつたと、自分はこう思っているというふう

なことを市民の前に明らかにしていくことが行政と市民を平和のことについてつないでいくことになるのではないかというふうに思っています。

それからアスロフについてももう一層聞きたいんですが、それからさつき、四月の一日から訓練があるという通告を受けました。通告を受けた、それでさっきの話を聞きますとミッドウエーの艦載機の通告に対しては基地の周辺の市町と一緒に中止の申し入れ等々行っているんですね。確かにE2Bのあの市内上空旋回飛行というのはものすごくうるさいわけですから、特にいまはよくがすごく心配しているのは、E2Bも含めました厚木の基地に夜間訓練を行っているミッドウエーの艦載機は、大和とか綾瀬とかという周辺住民の市長さんを含めたすごい反対運動の中で、確かその人、栗藤さんと申したようですが、反対運動の中で、あそこで訓練できなくなっちゃって、一生涯懸命に探しているわけですよ。探してみたら横田があったのであそこに行けということで来られちゃたまらない。だから厚木に戻れと言いませんけれども、たまらないと思うんですね。これはだれでもそう思うんです。そういう中でそのE2Bに関しては確かに抗議し、中止の申し入れをしました。それで、具体的には中止だけなのか、という形で中止の申し入れをしたのかというのをもうちょっとよく伺いた

い。市長さん御努力してると思いますが、それでも、それでもなおかつ具体的に九月に飛んでいた飛行機のうちの二機は通り過ぎて行ったのですが、いま一機は爆発し燃えちゃったんです、ボフーッと。それでいつ落っこちるか分からない飛行機をけこう飛ばしているわけですよ。それで結果としては修理中に事故を起こして日本人が死んでしまうという大変なことになるわけです。あれが飛んでいるわけですよ。それで具体的にその中止要請をしましたというコメントだけでなく何かこうやって向こうはどう思った、中止なんかできないと言ったのか、それとも中止しないからちよつとおまけをしようと言ったのか、そういうことについて伺いたいと思います。確かに中止の申し入れをしたということについてなおかつ報道もされましたけれどももう少し詳しくぜひ聞きたいと、報告をしていたきたいというふうに思います。それから市長が指令官に会った折にはどのような、形で言っていると思うんですけれども、ぜひ訓練をしてもいいとは思いませんけれども、せめてその市内上空を、市役所の上を飛ばすわけですから、こういうようなことは約束違反じゃないかと、こういった形かて文書なり何なりでやっていたきたいというふうに思っています。会ったときに話しましたということではなくて、という文書を出されたのか、という文書の返答があったのかとい

うことが公文書ですからぜひ明らかにしていただいてそれをぜひ伺いたいというふうに思います。特にいま最初の方のフリー・テキストを含めまして、何度も言いますけれども明らかに態様が変わっているわけですからそれについてどうなっているかということについても含めて伺っておきたいと思ひます。

それから、保育の問題ですけれども、よく聞いたことは、要するに父母負担の格差があるのかということか、一番大きい質問の趣旨なんですけれども、市団の乾燥というのは年一回以内という形でやっていきたいと……、父母から具体的には乾燥代という形で取らないところと取るところもちろん市団の私物の問題と公有物の問題等があるでしょうけれども、市団の乾燥については子供のためどちらがよいのかという健康の問題とか、そういうことはあるかもしれませんが、具体的に措置費だけを払って清んでいる保育なのか。それ以上の父母負担金があるのかということ聞きたいわけです。もちろんまあか父母にいろいろな形でもってお金を負担をさせてそれで園のものを買うとか、そういうことはあり得ないことで、そんなことは考えていない。そうじゃなくて具体的に負担の問題。たとえば一部負担というのがあるでしょう。遠足で保育園の予算の中では賄えないようなときがあるわけですね。そのとき

によけいにもらう 負担ということがあるわけですね。そういうことも含めて措置だけで清んでいるものなのか。園によって差があるのかどうなのか。たとえば園に入るときには御承知のとおり標準服みたいなスモックを着なさいという園もあるわけですね。どんなか、こうでもないですよと、裸だ、いいですよというところもあるわけですね。そうすると入園のときの負担金が変わってくるわけですね。これは父母の皆さんの選択があるから、その保育園、保育園であるから、それはあってもものすごくひどくなければあることは不思議でも何でもないんですか、月々の負担金以外のものがかかっているのかどうかということをお伺いしたいと思います。

それから東口の方はなるほど確かに中途半端になっていると。それが違法駐車要素ではないかと、確かにそういうことだと思ひます。しかしそれ以上に、よくこんなことを言っちゃ何ですけれども、そのアスファルトのいわゆる米軍人の方が日本の交通法規に対してなめてんじやないかという気がすくするんですね。ウイニカーをつけずに曲がるとか、ちくちや運転をされるとか、はいはいあるんですね。その上にさらに市の財産までそういう形で侵されてはたまらんといいのがあるんですね。確かに中途半端、中途半端だから違法駐車要素になるとすればそれは市民、並通の日本の市民でも同じ条